

園だより 9月

主よ、あなたの道をわたしに示し、あなたに従う道を教えてください。

詩編 25 編 4 節

今年も暑い暑い夏休みでした。コロナの状況が良くなった訳ではありませんが、行動規制などが無かったので、感染予防をしながらお出かけをされたご家庭も多かったのではないのでしょうか。まとまったお休みならではの大切なとき、何も心配をせずに楽しく過ごせる日々が一日でも早く戻って来ることを願わずにはられません。

夏期保育、久しぶりに元気な子どもたちの声が響いた幼稚園。二学期が始まるワクワクとしたエネルギーに包まれ、この様に平和で穏やかな環境を至極当たり前に整え9月をスタート出来ますことに感謝しております。

今年も、夏休みの間に広島平和記念日・長崎原爆の日・終戦記念日を迎えました。

日常当たり前の様に平和に浸り過ごしている私たちですが、この特別な日々に関心を持つことで、毎年平和について深く考えるときが与えられています。テレビの報道番組でも、戦後も77年を過ぎたからこそその大戦時や戦後の惨状の事実が様々な観点から伝えられていました。また、戦争というものを過去の出来事として捉えるのではなく、よりリアルに受け止められるようにでしょうか、今のウクライナの惨状と第二次世界大戦時の様子を重ね合わせながらの映像が多く放映されていました。情報はとにかく流れていました。ただ、それらをどの様に捉えるか、それぞれ個々の感性に委ねられているように思われました。戦争により得られるものはなにもありません。でも、その戦争を人間はなぜ引き起こすのでしょうか。重ね合わされたウクライナと第二次世界大戦の惨状映像からは77年の「とき」の流れを感じることは出来ませんでした。戦後、世界は目覚ましい発展と成長が成されたはずなのに、なぜ今も戦争という成長の無い選択がされるのでしょうか。そこからどの様な幸せが得られるのでしょうか。誰もが望んでいるはずの平和は一瞬にして簡単に壊すことは出来ます。

久しぶりに子どもたちの生き活きとしたエネルギーを受け止めながら、今の平和を子どもたち・保護者の皆様と共に日常の中でしっかりと感じ、平和であり続けることを祈り続けたいと切に願いました。平和であるからこそ守られる、2学期の豊かで穏やかな日々のために宜しくお願い申し上げます。

園長 駿河 幸子

